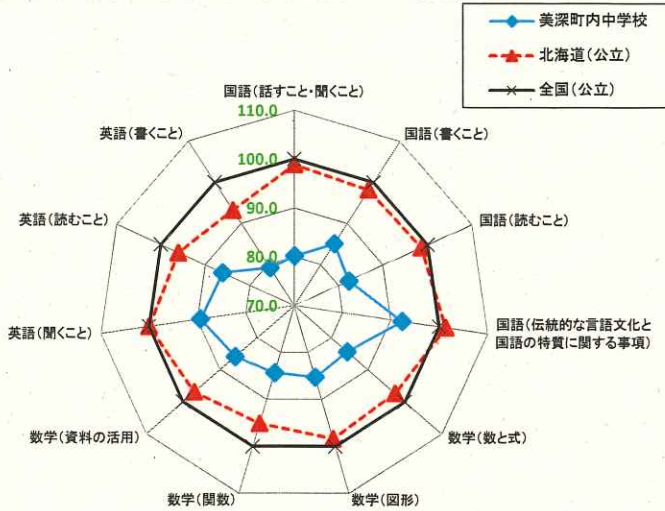


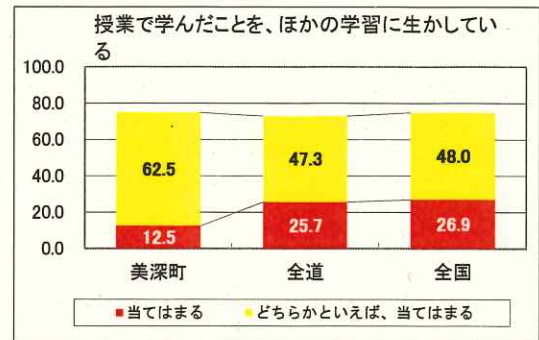
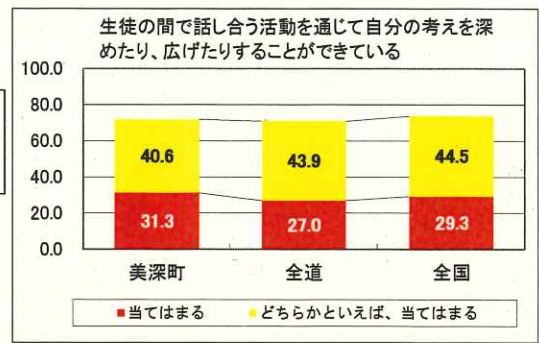
■美深町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、生徒数:32人)

【教科全体の状況】

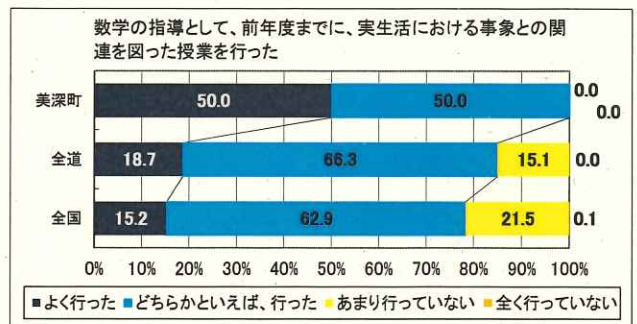
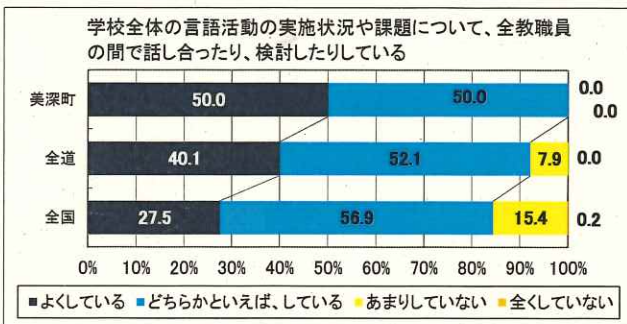
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語において、全国に最も近くなっている。 ○ 国語では、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学では、「関数」、英語では、「聞くこと」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、生徒が、生徒の間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりするようになり、国語の「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、数学の「関数」、英語の「聞くこと」で全国に最も近くなったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行ったことにより、生徒が、授業で学んだことを、ほかの学習に生かすようになり、数学の「関数」で全国に最も近くなったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 	

【美深町の学力向上策】

- ◎ 子どもたちが、主体的に学び自立するための力を養い、確かな学力と体力の向上が図られるよう、教育活動の充実
- ◎ 家庭学習習慣定着の取組、長期休業期間中の学習サポート、放課後における学習機会の確保などによるきめ細かな指導の充実
- ◎ リーディングスキルテストを活用し、読解力を改善し、総合的な学力向上を目指す
- ◎ 子どもたちが、英語で積極的にコミュニケーションが図れるよう、ALT等の人材活用による、外国語教育の推進